

○水生生物モニタリング調査結果一覧（阿武隈川A、B）

<阿武隈川A,B 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
A-1	○	○	○	○	○	○
A-2	○	○	○	—	○	—
B-2	○	○	○	—	○	—
B-3	○	○	○	—	○	—

<阿武隈川A,B 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時		水質	底質				その他		
	緯度	経度	日	時刻 (水)		時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)
A-1 (表層)	37.6210°	140.5218°	R5.12.4	08:42	09:09	6.6	7.3	シルト混砂	5Y3/2	なし	5.70	>50 (1.2m)*
A-1 (下層)				08:35		6.3						
A-2	37.5673°	140.3946°		11:25	11:36	7.8	8.4	礫混砂	10YR4/4	なし	0.58	>50
B-2	37.8121°	140.5058°		15:05	15:15	8.7	9.1	砂	10YR4/2	なし	0.52	>50
B-3	37.8182°	140.4679°		13:57	14:05	9.3	9.0	砂	10YR4/3	なし	0.55	>50

\*: ( ) 内の数値は、透明度を示す。

<阿武隈川A,B 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
A-1 (表層)	37.6210°	140.5218°	R5.12.4	08:42	7.6	1.5	3.3	11.8	20.7	0.10	1.6	3	2.4	N.D. (0.0014)	0.0068	0.00097
A-1 (下層)				08:35	7.6	1.7	3.4	12.2	20.9	0.10	1.6	4	2.4	N.D. (0.0013)	0.0054	—
A-2	37.5673°	140.3946°		11:25	7.4	0.6	1.8	12.3	12.0	0.06	0.9	<1	0.6	N.D. (0.0015)	0.0037	—
B-2	37.8121°	140.5058°		15:05	7.7	1.1	3.2	13.2	19.2	0.10	1.5	5	3.9	N.D. (0.0015)	0.032	—
B-3	37.8182°	140.4679°		13:57	7.6	0.7	2.7	12.5	10.5	0.06	1.2	2	1.4	N.D. (0.0014)	0.0038	—

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<阿武隈川A,B 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
A-1	37.6210°	140.5218°	R5.12.4	09:09	7.3	173	27.2	3.1	7.7	2.710	0.2	2.1	44.2	32.6	13.9	7.0	0.23	4.8	2.6	160	N.D. (0.11)
A-2	37.5673°	140.3946°		11:36	7.2	507	19.6	1.5	1.9	2.740	29.9	28.3	29.3	4.9	3.6	4.0	1.1	9.5	1.5	70	—
B-2	37.8121°	140.5058°		15:15	7.3	392	25.2	1.5	1.7	2.690	0.8	4.0	76.3	14.7	0.7	3.5	0.41	4.8	1.5	83	—
B-3	37.8182°	140.4679°		14:05	7.5	497	21.7	0.9	0.8	2.650	25.1	40.9	26.1	3.0	2.1	2.8	1.2	9.5	0.35	26	—

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<阿武隈川A,B 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
A-1	阿武隈川本流	37.6210°	140.5218°	R5.12.4	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.0064	—	—	—	88	N. D. (12)	88	—
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	38	0.025	幼虫	—	—	7.0	N. D. (1.3)	7.0	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	30	0.15	未成魚	—	—	3.7	N. D. (0.38)	3.7	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	タモロコ	60	0.20	未成魚/成魚	—	—	2.1	N. D. (0.32)	2.1	—
					粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.25	—	—	3.6	N. D. (0.33)	3.6	—	
A-2	原瀬川	37.5673°	140.3946°	R5.12.4	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.014	—	—	—	110	N. D. (16)	110	—
					節足動物	昆虫	カゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>	モンカゲロウ	88	0.0051	幼虫	—	—	41	N. D. (8.0)	41	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	アブラハヤ	18	0.034	未成魚/成魚	—	—	3.7	N. D. (1.3)	3.7	—
					粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.23	—	—	32	N. D. (1.5)	32	—	
B-2	阿武隈川本流	37.8121°	140.5058°	R5.12.1	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	4	0.87	成魚	不明消化物	内臓除去	9.9	N. D. (1.1)	9.9	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	3	0.23	成魚	不明消化物	内臓除去	3.7	N. D. (0.78)	3.7	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	ニゴイ	2	3.1	成魚	モクスガニ	内臓除去	11	N. D. (1.1)	11	0.39
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	キンイリシユ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	1	0.19	未成魚	空胃	内臓除去	4.1	N. D. (0.53)	4.1	—
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	アメリカナマス	<i>Ictalurus punctatus</i>	アメリカナマス	2	3.0	成魚	モクスガニ	内臓除去	7.8	N. D. (1.3)	7.8	0.21
B-3	摺上川	37.8182°	140.4679°	R5.12.1	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.037	—	—	—	38	N. D. (4.4)	38	—
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	171	0.038	幼虫	—	—	8.7	N. D. (1.6)	8.7	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	5	0.017	未成魚	—	—	3.3	N. D. (1.7)	3.3	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	ニゴイ	2	0.020	未成魚	—	—	2.5	N. D. (1.2)	2.5	—
					脊椎動物	両生	無尾	アメリカカカエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	1	0.29	成体	—	—	12	N. D. (1.7)	12	—
										粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.21	—	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。